

令和4年度 農作物病害虫発生予察9月月報

令和4年(2022年)10月4日
山口県病害虫防除所

I 気象概況

アメダス山口県山口地点

| 月・半旬 | 気 温 (°C) | | | | | | | | |
|------|----------|-------|--------|---------|-------|--------|------|------|-------|
| | 平均 | | | 最高 | | | 最低 | | |
| | 本年 | 平年 | 平年差 | 本年 | 平年 | 平年差 | 本年 | 平年 | 平年差 |
| 9.1 | 25.9 | 25.6 | 0.3 | 29.8 | 30.8 | △ 1.0 | 22.5 | 21.7 | 0.8 |
| 9.2 | 25.3 | 24.9 | 0.4 | 30.7 | 30.2 | 0.5 | 20.8 | 21.0 | △ 0.2 |
| 9.3 | 27.9 | 24.1 | 3.8 | 34.2 | 29.4 | 4.8 | 23.5 | 20.1 | 3.4 |
| 9.4 | 25.4 | 23.1 | 2.3 | 29.9 | 28.6 | 1.3 | 21.4 | 19.0 | 2.4 |
| 9.5 | 22.1 | 22.1 | 0.0 | 28.2 | 27.6 | 0.6 | 17.8 | 17.8 | 0.0 |
| 9.6 | 21.9 | 21.2 | 0.7 | 26.6 | 26.7 | △ 0.1 | 18.1 | 16.8 | 1.3 |
| 平均・計 | 24.8 | 23.5 | 1.3 | 29.9 | 28.9 | 1.0 | 20.7 | 19.4 | 1.3 |
| 月・半旬 | 降水量(mm) | | | 日照時間(h) | | | | | |
| | 本年 | 平年 | 平年差 | 本年 | 平年 | 平年差 | | | |
| | 本年 | 平年 | 平年差 | 本年 | 平年 | 平年差 | | | |
| 9.1 | 40.5 | 34.3 | 6.2 | 11.5 | 26.7 | △ 15.2 | | | |
| 9.2 | 6.0 | 31.5 | △ 25.5 | 23.8 | 26.0 | △ 2.2 | | | |
| 9.3 | 0.0 | 29.7 | △ 29.7 | 40.9 | 25.5 | 15.4 | | | |
| 9.4 | 271.5 | 29.0 | 242.5 | 17.6 | 25.5 | △ 7.9 | | | |
| 9.5 | 0.0 | 28.6 | △ 28.6 | 30.2 | 25.5 | 4.7 | | | |
| 9.6 | 45.5 | 26.9 | 18.6 | 15.8 | 25.5 | △ 9.7 | | | |
| 平均・計 | 363.5 | 180.0 | 183.5 | 139.8 | 154.7 | △ 14.9 | | | |

II 作物の生育状況

- (1) イネ : 早生品種は収穫済み。中生及び晩生品種の出穂は平年並だが、9月19日の台風14号により倒伏が発生した。
- (2) ダイズ : 6月播種のものについては子実肥大期で着莢は平年並。9月19日の台風14号により倒伏が発生した。
- (3) カンキツ : 着果量が少なく、果実肥大は全般に平年より大きい。果実の糖、酸とも平年より低い傾向が見られる。また、裂果や日焼け、夏秋枝の発生が散見される。
- (4) ナシ : 9月末までに収穫された品種では、果実肥大は平年並から大きめ、糖度は平年並みであった。収穫前の品種・産地で、台風による落果が発生した。
- (5) キャベツ : 一部では台風等の影響もあったが、8月下旬から9月上旬にかけて定植が行われた。台風14号の影響で、一部ほ場では冠水や滞水の影響で、その後枯死するなどの被害が発生した。その他地域は概ね生育は順調に推移した。
- (6) イチゴ : 定植作業は概ね9月下旬までに終了している。今年の花芽分化状況は、「かおり野」は例年並みの9月中旬頃、「紅ほっぺ」や「さちのか」は一部地域では例年に比べやや早く9月中旬からであった。

Ⅲ 病害虫の発生状況

1 普通作物

2022年9月

| 病害虫名 | 発生状況 | 発生地域 | 発生面積 (ha) |
|---|--|------|-----------|
| イネ いもち病 (穂いもち) (調査ほ場数：中旬55 下旬31) | 中旬の巡回調査では、発生ほ場率40.0% (平年20.1%)、発病株率13.1% (平年5.1%)、発病穂率2.6% (平年1.0%)、発病度2.0 (平年0.6) で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率32.3% (平年30.7%)、発病株率15.0% (平年9.4%)、発病穂率4.9% (平年1.9%)、発病度4.2 (平年1.5) で平年に比べやや多かった。 一部ほ場で多発生がみられた。 | 県内全域 | 甚 226 |
| | | | 少 4,523 |
| | | | 計 4,749 |
| 紋枯病 (調査ほ場数：中旬62 下旬36) | 中旬の巡回調査では、発生ほ場率48.4% (平年26.1%)、発病株率16.6% (平年5.3%)、発病度6.3 (平年2.0) で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率47.2% (平年32.1%)、発病株率16.3% (平年6.8%)、発病度5.8 (平年2.7) で平年に比べ多かった。 | 県内全域 | 多 452 |
| | | | 中 905 |
| | | | 少 5,427 |
| | | | 計 6,784 |
| ごま葉枯病 | 中旬の巡回調査では、発生ほ場率40.3% (平年27.1%)、発病株率24.2% (平年14.3%)、発病度7.0 (平年3.9) で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率69.4% (平年33.8%)、発病株率42.3% (平年20.4%)、発病度13.4 (平年5.9) で平年に比べ多かった。 | 県内全域 | 多 905 |
| | | | 中 2,035 |
| | | | 少 2,714 |
| | | | 計 5,654 |
| 白葉枯病 | 中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.1%)、発病株率0% (平年0.0%)、発病度0 (平年0.0) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。 | — | — |
| 縞葉枯病 | 中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年1.1%)、発病株率0% (平年0.0%) で平年並みであった。 | — | — |
| もみ枯細菌病 (調査ほ場数：44) | 中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年10.0%)、発病株率0% (平年2.0%)、発病穂率0% (平年0.2%) で平年に比べやや少なかった。 | — | — |
| 稻こうじ病 (調査ほ場数：中旬36 下旬37) | 中旬の巡回調査では、発生ほ場率19.4% (平年6.5%)、発病株率5.6% (平年0.6%) で平年に比べ多かった。一部ほ場で多発生がみられた。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率37.8% (平年21.9%)、発病株率6.2% (平年2.3%) で平年に比べやや多かった。 | 県内全域 | 甚 452 |
| | | | 多 226 |
| | | | 中 905 |
| | | | 少 1,583 |
| | | | 計 3,166 |

| 病虫害名 | 発生状況 | 発生地域 | 発生面積(ha) | |
|--|--|------|-----------------------|-------------------------------------|
| イネ トビイロウンカ (調査ほ場数：中旬62、 下旬37) | 中旬の巡回調査では、発生ほ場率4.8% (平成39.6%)、10株当たり虫数0.1頭 (平成21.4頭)、10株当たり短翅型成虫 数0.0頭(平成1.3頭)で平年に比べやや 少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年35.6%)、10株当たり虫数0頭(平年 29.6頭)、10株当たり短翅型成虫数0頭 (平成0.4頭)で平年に比べやや少なか った。 定期巡回調査経路上における坪枯れ発生 ほ場視認調査では、中旬調査、下旬調査 共に発生が認められなかった。 | 県内全域 | 少 | 678 |
| コブノメイガ | 中旬の巡回調査では、発生ほ場率41.9% (平成35.3%)、被害葉率0.4%(平成 1.3%)で平成並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率45.9% (平成38.4%)、被害葉率1.2%(平成1.9%) で平成並みであった。 | 県内全域 | 多 中 少 計 | 226 452 3,166 3,844 |
| イネクロカメムシ | 中旬の巡回調査では、発生ほ場率1.6% (平成1.3%)、25株虫数0.0頭(平成0.0 頭)で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.4% (平成0.3%)、25株虫数0.1頭(平成0.0 頭)で平年に比べ多かった。 | 県内全域 | 少 | 452 |
| 斑点米カメムシ類 (調査ほ場数：中旬26) | 中旬の巡回調査では、発生ほ場率48.0% (平成49.5%)、20回すくい取り虫数3.5 頭(平成1.1頭)で平年に比べ多かった。 主要種はミナミアオカメムシ、イネカメ ムシであった。 一部ほ場で多発生がみられた。 | 県内全域 | 甚 多 中 少 計 | 226 452 678 1,583 2,939 |
| ニカメイガ、イネ ヨトウ (調査ほ場数：中旬62、 下旬37) | 中旬及び下旬の巡回調査では、発生は認 められず平成並みであった。 | — | — | — |
| イネカラバエ (調査ほ場数：62) | 中旬の巡回調査では、発生は認められず 平成並みであった。 | — | — | — |
| ダイズ (調査ほ場数：19) べと病 | 下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.3% (平成35.2%)、発病株率4.6%(平成 23.2%)、発病度1.2(平成5.9)で平成 に比べ少なかった。 | 県内全域 | 少 | 41 |
| 葉焼病 | 下旬の巡回調査では、発生ほ場率42.1% (平成33.3%)、発病株率33.3%(平成 21.8%)、発病度8.3(平成5.7)で平成 に比べやや多かった。 | 県内全域 | 少 | 331 |

| 病害虫名 | 発生状況 | 発生地域 | 発生面積 (ha) | |
|------------------------------|--|------|-----------|-----|
| ダイズ 立枯性病害(白絹病、黒根腐病) | 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年3.4%)、発病株率0% (平年0.0%) で平年並みであった。 | — | — | |
| 葉枯性病害(褐色輪紋病) | 下旬の巡回調査では、発生ほ場率73.7% (前年76.2%)、発病株率58.1% (前年53.7%)、発病度18.2 (前年13.6) であった。 | 県内全域 | 中 | 124 |
| | | | 少 | 455 |
| | | | 計 | 579 |
| ハスモンヨトウ (調査ほ場数：中旬21、下旬20) | 中旬の巡回調査では、白変葉発生ほ場率4.8% (平年50.0%)、1a当たり白変か所数0.0か所 (平年1.1か所)、m ² 当たり虫数0.2頭 (平年1.6頭) で平年に比べ少なかった。 下旬の巡回調査では、白変葉発生ほ場率0% (平年26.7%)、1a当たり白変か所数0か所 (平年0.5か所)、m ² 当たり虫数0.1頭 (平年0.8頭) で平年に比べ少なかった。 齢期は若中齢が主体であった。 | 県内全域 | 少 | 41 |
| オオタバコガ | 中旬の巡回調査では、発生ほ場率4.8% (平年22.1%)、m ² 当たり虫数0.0頭 (平年0.1頭) で平年に比べ少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.0% (平年9.4%)、m ² 当たり虫数0頭 (平年0.0頭) で平年並みであった。 | 県内全域 | 少 | 41 |
| 吸実性カメムシ類 | 中旬の巡回調査では、発生ほ場率76.2% (平年59.5%)、m ² 当たり虫数1.5頭 (平年0.5頭) で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率90.0% (平年66.2%)、m ² 当たり虫数2.3頭 (平年0.7頭) で平年に比べ多かった。 | 県内全域 | 甚 | 83 |
| | | | 多 | 41 |
| | | | 中 | 290 |
| | | | 少 | 331 |
| | | | 計 | 745 |
| アブラムシ類 (調査ほ場数：18) | 下旬の巡回調査では、発生ほ場率11.1% (平年31.4%)、10葉当たり虫数2.8頭 (平年8.4頭) で平年並みであった。 | 県内全域 | 多 | 41 |
| | | | 中 | 41 |
| | | | 計 | 82 |
| サヤムシガ類 (調査ほ場数：中旬21、下旬18) | 中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年1.0%)、25株当たり被害か所数は0 (平年0.0) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.1%)、25株当たり被害か所数は0 (平年0.0) で平年並みであった。 | — | — | |
| ウコンノメイガ | 中旬の巡回調査では、発生ほ場率28.6% (平年24.5%)、被害株率5.5% (平年5.4%) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.6% (平年6.1%)、被害株率0.2% (平年0.7%) で平年並みであった。 | 県内全域 | 多 | 41 |
| | | | 少 | 207 |
| | | | 計 | 248 |

| 病害虫名 | 発生状況 | 発生地域 | 発生面積 (ha) |
|--|--|------|----------------------------------|
| ダイズ ウワバ類等のチョウ目 (調査ほ場数：中旬21、下旬20) | 中旬の巡回調査では、発生ほ場率81.0% (平成78.6%)、m ² 当たり虫数2.8頭 (平成2.2頭) で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率50.0% (平成66.2%)、m ² 当たり虫数0.2頭 (平成0.9頭) で平年に比べ少なかった。 主要種はウワバ類であった。 | 県内全域 | 甚多 83 中 124 少 249 計 705 |
| フタスジヒメハムシ | 中旬の巡回調査では、発生ほ場率76.2% (平成75.7%)、m ² 当たり虫数12.2頭 (平成11.1頭) で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率90.0% (平成80.9%)、m ² 当たり虫数15.0頭 (平成13.2頭) で平年に比べやや多かった。 | 県内全域 | 甚多 290 中 83 少 83 計 746 |
| コガネムシ類 (調査ほ場数：中旬21、下旬18) | 中旬の巡回調査では、発生ほ場率28.6% (平成3.4%)、被害度7.1 (平成0.8) で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率11.1% (平成1.0%)、被害度2.8 (平成0.1) で平年に比べ多かった。 | 県内全域 | 中 249 |
| ダイズサヤタマバエ (調査ほ場数：20) | 下旬の巡回調査では、発生ほ場率23.8% (平成4.8%)、被害率0.2% (平成0.0%) で平年に比べやや多かった。 | 県内全域 | 少 174 |

2 果樹

| 病害虫名 | 発生状況 | 発生地域 | 発生面積 (ha) |
|-----------------------------|---|------|-----------|
| カンキツ (調査ほ場数：19) かいよう病 | 下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.5% (平成8.6%)、発病果率0.7% (平成0.7%)、発病度0.2 (平成0.3) で平年並みであった。 | 県内全域 | 少 113 |
| 黒点病 | 下旬の巡回調査では、発生ほ場率52.6% (平成90.4%)、発病果率3.1% (平成31.4%)、発病度0.7 (平成8.4) で平年に比べ少なかった。 | 県内全域 | 少 567 |
| ミカンハダニ | 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平成18.6%)、寄生葉率0% (平成2.7%) で平年に比べ少なかった。 | — | — |
| ミカンサビダニ | 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平成2.0%)、被害果率0% (平成0.2%) で平年並みであった。 | — | — |

2022年9月

| 病害虫名 | 発生状況 | 発生地域 | 発生面積 (ha) |
|--|--|------|---------------------------------|
| カンキツ アブラムシ類 | 下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.5% (前年15.8%)、寄生新梢率0.4% (前年5.7%) であった。主要種はユキヤナギアブラムシであった。 | 県内全域 | 少 113 |
| ヤノネカイガラムシ | 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (前年0.5%) で平年並みであった。 | — | — |
| イセリアカイガラムシ | 下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.3% (平年1.0%) で平年に比べやや多かった。 | 県内全域 | 少 57 |
| ナシマルカイガラムシ | 下旬の巡回調査では、発生ほ場率42.1% (平年29.7%)、寄生果率3.7% (平年1.5%) で平年に比べ多かった。 | 県内全域 | 多 57 中 227 少 170 計 454 |
| チャノキイロアザミウマ | 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (前年13.0%)、被害果率0% (前年0.4%) で平年に比べやや少なかった。 | — | — |
| ナシ (調査ほ場数:15) 黒斑病 (二十世紀:9) | 下旬の巡回調査では、発生ほ場率11.1% (前年21.8%)、発病葉率0% (前年0.0%)、発病新梢率0.1% (前年4.0%) で平年に比べやや少なかった。 | 県内全域 | 少 9 |
| 黒星病 | 下旬の巡回調査では、発生ほ場率26.7% (前年16.7%)、発病葉率0.4% (前年0.5%) で平年に比べやや多かった。 | 県内全域 | 少 43 |
| うどんこ病 | 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (前年1.3%)、発病葉率0% (前年0.1%) で平年並みであった。 | — | — |
| ハダニ類 | 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (前年20.0%)、寄生葉率0% (前年2.6%) で平年に比べやや少なかった。 | — | — |
| チュウゴクナシ キジラミ | 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (前年13.3%)、寄生葉率0% (前年0.7%) で平年に比べやや少なかった。 | — | — |
| ナシヒメシクイ | 9月のフェロモントラップ (萩市小川) の誘殺数は、34頭 (前年33頭) で平年並みであった。 | 県内全域 | — |
| 果樹全般 カメムシ類 (チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ) | 8月26日～9月25日の予察灯 (県内5か所) の誘殺数は、176頭 (前年313頭) で平年に比べやや少なかった。 | 県内全域 | — |

3 野菜

2022年9月

| 病害虫名 | 発生状況 | 発生地域 | 発生面積 (ha) |
|-------------------------------|--|------|---------------------|
| キャベツ (調査ほ場数:10) モンシロチョウ | 下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.0% (平年10.3%)、10株当たり虫数0.1頭 (平年0.1頭) で平年並みであった。 | 県内全域 | 少 14 |
| コナガ | 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年8.5%)、10株当たり虫数0頭 (平年0.0頭) で平年並みであった。 | — | — |
| ヨトウガ | 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年2.8%)、寄生株率0% (平年0.1%) で平年並みであった。 | — | — |
| ハスモンヨトウ | 下旬の巡回調査では、発生ほ場率30.0% (平年31.6%)、寄生株率1.2% (平年1.9%) で平年並みであった。 | 県内全域 | 少 43 |
| シロイチモジヨトウ | 下旬の巡回調査では、発生ほ場率30.0% (平年4.0%) 寄生株率0.8% (平年0.1%) で平年に比べ多かった。 | 県内全域 | 少 43 |
| オオタバコガ | 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年5.0%)、寄生株率0% (平年0.1%) で平年並みであった。 | — | — |
| ハイマダラノメイガ | 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.8%)、寄生株率0% (平年0.1%) で平年並みであった。 | — | — |
| ウワバ類 | 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年4.3%)、寄生株率0% (平年0.1%) で平年並みであった。 | — | — |
| アブラムシ類 | 下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.0% (平年24.0%)、寄生株率0.2% (平年1.8%) で平年並みであった。 | 県内全域 | 少 14 |
| イチゴ (調査ほ場数:13) うどんこ病 | 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年9.5%)、発病株率0% (平年2.0%)、発病葉率0% (平年0.8%) で平年に比べ少なかった。 | — | — |
| 炭疽病 | 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年2.0%)、発病株率0% (平年0.0%) で平年並みであった。 | — | — |
| アブラムシ類 | 下旬の巡回調査では、発生ほ場率23.1% (平年26.9%)、寄生株率9.1% (平年4.9%) で平年に比べやや多かった。 主要種はワタアブラムシであった。 | 県内全域 | 多 5 少 10 計 15 |
| ハスモンヨトウ | 下旬の巡回調査では、発生ほ場率7.7% (平年13.6%)、寄生株率0.2% (平年0.4%) で平年並みであった。 | 県内全域 | 少 5 |
| ハダニ類 | 下旬の巡回調査では、発生ほ場率7.7% (平年20.7%)、寄生株率1.2% (平年5.8%) で平年並みであった。 主要種はナミハダニであった。 | 県内全域 | 少 5 |

| 病害虫名 | 発生状況 | 発生地域 | 発生面積 (ha) | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------|---|-------|-----------|----|-------|-------|-----|------|-----|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----------|----|-------|------|---|
| イチゴ コナジラミ類 | 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年14.6%)、寄生株率0% (平年3.1%) で平年に比べ少なかった。 | — | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| オオタバコガ | 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.0%) 寄生株率0% (平年0.0%) で平年並みであった。 | — | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| シロイチモジヨ トウ | 下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。 | — | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 野菜、花き類 アブラムシ類 | 9月の黄色水盤トラップ (山口市大内) の誘殺数は、397頭 (平年352頭) で平年に比べやや多かった。 | 県内全域 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ハスモンヨトウ | 9月のフェロモントラップ (山口市大内) の誘殺数は、1,549頭 (平年3,459頭) で平年に比べやや少なかった。 8月21日～9月20日の県内他地点のフェロモントラップの誘殺数は、下記のとおりであった。 フェロモントラップでの誘殺数(頭) <table border="1"> <thead> <tr> <th>地点</th> <th>本年</th> <th>平年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>山口市阿東</td> <td>1,149</td> <td>995</td> </tr> <tr> <td>萩市明木</td> <td>182</td> <td>223</td> </tr> <tr> <td>下関市清末</td> <td>2,034</td> <td>1,972</td> </tr> <tr> <td>柳井市伊陸</td> <td>2,731</td> <td>2,271</td> </tr> <tr> <td>参考:周南市熊毛</td> <td>80</td> <td>182 ※</td> </tr> </tbody> </table> ※周南市の平年欄は前年の誘殺数を記載 | 地点 | 本年 | 平年 | 山口市阿東 | 1,149 | 995 | 萩市明木 | 182 | 223 | 下関市清末 | 2,034 | 1,972 | 柳井市伊陸 | 2,731 | 2,271 | 参考:周南市熊毛 | 80 | 182 ※ | 県内全域 | — |
| 地点 | 本年 | 平年 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 山口市阿東 | 1,149 | 995 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 萩市明木 | 182 | 223 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 下関市清末 | 2,034 | 1,972 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 柳井市伊陸 | 2,731 | 2,271 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 参考:周南市熊毛 | 80 | 182 ※ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| オオタバコガ | 9月のフェロモントラップ (山口市大内) の誘殺数は、10頭 (平年96.1頭) で平年に比べやや少なかった。 | 県内全域 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| シロイチモジヨ トウ | 9月のフェロモントラップ (山口市大内) の誘殺数は、37頭 (平年69.5頭) で平年並みであった。 | 県内全域 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| コナガ | 9月のフェロモントラップ (山口市大内) の誘殺数は、1頭 (平年10.1頭) で平年に比べ少なかった。 | 県内全域 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

お問い合わせ先 山口県病害虫防除所
 TEL (083)927-4006
 E-mail a172011@pref.yamaguchi.lg.jp